



重点領域

モビリティ 



モビリティが急速に進化する社会において、ブリヂストングループは、お客様と社会に役立つ先進的なソリューションを創出しています。モビリティの高度化は、よりよい公共交通、渋滞の減少、多様な移動ニーズへの対応を実現するとともに、交通事故を減らし、生活の質を向上させます。

ブリヂストングループは、私たちの強みや特性を活かし、世界中で社会や環境の課題を解決しながら、より安全で快適な移動の実現に貢献します。

多様な移動ニーズに応えモビリティの進化と安全・安心な移動に取り組んでいます。

モビリティの進化を更に進展させる取り組みとして、モビリティとテクノロジーに特化したベンチャー企業である欧州の Iris Capital や米国の The Wesley Group との提携を開始しました。これらの活動を通じて、新たなモビリティサービスの創出を目指すオープンイノベーション戦略を強化していきます。



多様な移動ニーズに応える

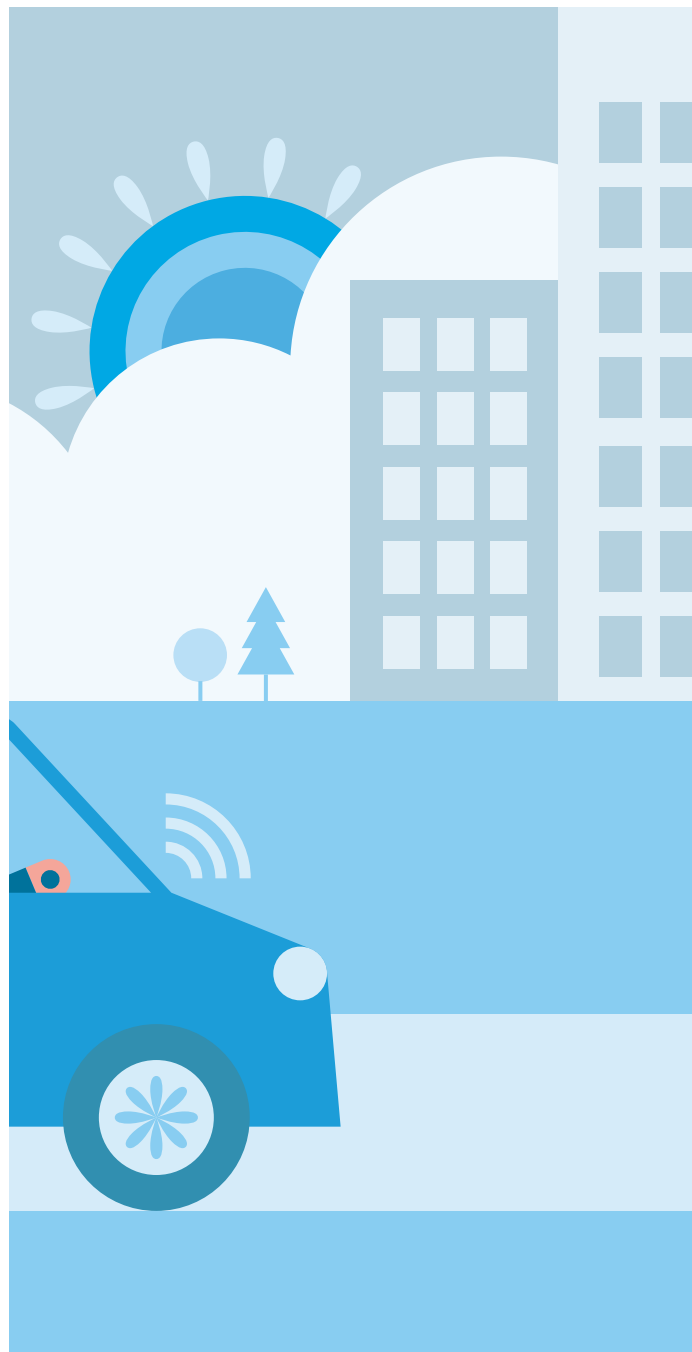
BSEMEA とその傘下の販売会社 First Stop は、スムーズかつシームレスなモビリティの実現に取り組んでいます。

例えばスペインでは、安心して電気自動車を利用いただくために、タイヤメンテナンスサービス設備や充電設備を備えたバンを各地に展開する **Ranger Mobility Solutions** プロジェクトを進めています。

また日本では、バス停車時に乗降口と停留所のすき間を小さくする正着性向上（バス乗降時のバリアフリー化）に関する研究を行っており、**バス停バリアレス縁石・タイヤの開発**を進めています。この取り組みにより車いすや高齢者はもとより、ベビーカーやキャリーケース利用者もバス乗降を容易に行うことが可能となります。この活動は、ブリヂストングループアワード 2019 の表彰案件に選ばれています。

BSAM と BSEMEA では、お客様のニーズに応じ、タイヤをタイムリーに提供する取り組みを開始しました。

- ・ その一つが The Goodyear Tire & Rubber Company と共同で設立した TireHub です。これにより、米国のほぼ全てのタイヤディーラー、小売店へのタイヤの即日配送が可能になり、エンドユーザーの方々のニーズに応える一方、ディーラーや小売店での在庫数削減に貢献します。
- ・ 欧州では、タイヤやオイルなど自動車用品の交換サービスを手頃な月額料金で提供する MOBOX を展開し、お客様に利便性と安心を提供しています。



私たちの想い



ゴードン・ナップ
Gordon Knapp

株式会社ブリヂストン 執行役 副会長
Bridgestone Americas, Inc.
取締役 兼 CEO 兼 プレジデント

モビリティを取り巻く環境は世界中で急速に変化しており、経済発展や生活の質向上に不可欠なテーマとなっています。ブリヂストングループは「モビリティ」を重点領域の一つに位置付け、責任ある企業として、環境・社会面にも配慮するとともに、安全・安心で快適な移動を提供することに努めています。そして、グローバル CSR 体系「Our Way to Serve」の推進によって、ブリヂストングループの未来のみならず、地域社会や環境に対してもより良い変化をもたらすことができると信じています。

モビリティの進化に貢献する

モビリティの進化として、より少ない資源でより遠くに移動するという側面があります。

- ・ブリヂストンは [Bridgestone World Solar Challenge](#) のタイトルスポンサーとして、持続可能なモビリティ社会の実現に向けた研究開発を支援するとともに、世界中から参加する各大学のソーラーカーチームにタイヤを提供し、若きエンジニアを応援します。
- ・ブリヂストンサイクルは、走りながら自動充電ができ、一回の充電でより長距離走行を可能にする両輪駆動の電動自転車を開発しました。今後、ブリヂストンサイクルが日本で販売する電動自転車の全てにこの新技術を導入する予定です。

- ・トラック・バスなどの輸送ビジネスのお客様に向けては、センサーを用いてリアルタイムでタイヤの空気圧や温度を計測し、モニタリングするシステムの開発を進めています。BSAM では、タイヤの走行状態の測定とモニタリングを可能にする QR コードがついたタイヤ、**IntelliTire™** を発売しています。BSEMEA では、フリート向けソリューションパッケージ、**FleetPulse** の提供を開始しました。空気圧モニタリングシステムをモバイルアプリ・専用ウェブサイトとつなぎ、車両の稼働率と走行時の安全性向上に貢献しています。また、BSEMEA では 2019 年 4 月に [Tom Tom Telematics](#) を買収しました。これによりブリヂストングループの製品・サービスメニューが更に強化されるとともに、タイヤ開発やタイヤ予知保全サービス分野での前進が期待されます。



安全・安心な移動を支える

モビリティの領域でも、ブリヂストングループの安全宣言「安全はすべてに優先する」は適用されています。



2014年にブリヂストンは、パンクした後も時速80kmで80km⁶まで安全に走行できるランフラットテクノロジー採用タイヤ「DriveGuard」の発売を開始しました。

ランフラットテクノロジー採用タイヤは1980年代に日本で障がい者向け福祉車両用に開発されたことを発端とし、その後ポルシェ959に標準装着タイヤとして採用されたことで量産車両向けに製造されるようになりました。ブリヂストングループはモビリティ社会のさらなる安全性向上に挑み続けており、現在プルービンググラウンド（テストコース）において自動運転システムでのランフラットテクノロジー採用タイヤの性能試験や、欧州、アジア、日本その他各国の騒音規制への対応を進めています。

またブリヂストングループでは、世界各地で数多くの交通安全活動を支援しています。

- ・米国テネシー州ナッシュビルのBSAM本社では、携帯電話を使いながらの運転の防止と運転技術の向上を目的として、授業と実車での運転練習を組み合わせた Bridgestone Teens Drive Smart という無料の半日ワークショップを10代の若者向けに開催しており、2010年の開始以来4,300人以上が参加しています。
- ・オーストラリアとニュージーランドでは、毎年5万人を超える高校生が参加するブリヂストングループ交通安全ワークショップを開催しています。
- ・コロンビア、コスタリカ、ドミニカ共和国、メキシコでは、大学や政府機関と連携し、ブリヂストングループ従業員が安全運転の啓発活動「Think Before You Drive」を進めており、2016年以来、31,000人を超える学生がこのプログラムに参加しました。
- ・インドでは、インド国内14箇所で職業ドライバーを対象とした視力検査を含む交通安全キャンプを実施しています。
- ・イタリアローマの技術センターに所属する従業員が **CulTire** program へのボランティア活動を通じて、175人の高校生に交通安全や運転の心得、タイヤのメンテナンスについて指導しました。
- ・インドネシアでは、Bridgestone **Ban Sehat, Anda Selamat** **タイヤ安全キャンペーン**を通じて、10年間で17,000人を超える人々が交通安全とタイヤのメンテナンスについて学んでいます。

詳しくは、Web サイトをご覧ください。

⁶ ISO規格又は特定の実車試験の条件下で、空気圧がゼロになっても速度80km/hで80kmの距離を走行可能

私たちの想い



江藤 彰洋

株式会社ブリヂストン
代表執行役 COO 兼 社長

ブリヂストングループの強みは、組織を動かす一人ひとりが持っている想いであり、これが「Our Way to Serve」に結集されています。ブリヂストングループの資産である高度な技術、商品とサービスネットワークを通じ、社会からの要求に応え、社会やお客様にとって本当に魅力ある価値を提供していくという発想のもと、ソリューション事業を加速させていきます。また、当社グループの競争優位性を将来に渡って確保すべく、我々の強みである継続的改善の力を更に磨き上げていきたいと考えております。これにより、当社グループは将来の様々な課題に対応するために、たゆまぬ変革を成し遂げていけると考えています。